

第 36 回 神戸市中学校バドミントン選手権大会 要項

- 1、主 催 神戸市バドミントン協会（協力：神戸市中体連バドミントン部）
- 2、後 援 神戸市バドミントン協会
- 3、日 時 令和 5 年 12 月 17 日（日） 予備日：12 月 23 日（土） 松蔭中学校
8：45～ 選手開場・受付
9：00～ 諸注意・連絡（受付終了次第） 16：10 頃 最終コール
※17 日（日）のみで大会を終える予定ですが、終わり切らなかった場合、
23 日（土）に松蔭中学校で予備日に残り試合を行う予定です。
- 4、会 場 令和 5 年 12 月 17 日（日）
神戸市立王子スポーツセンター （神戸市灘区青谷町 1－1－1）
※ 予備日 12 月 23 日（土） 松蔭中学校
- 5、大会規定 （1）種 目 学年別で 1(7)年男子・女子シングルス、
2(8)年男子・女子シングルス、2(8)年男子・女子ダブルスとする。
（ダブルスに 1(7)年を出場させる場合は、2(8)年と 1(7)年が組む場合のみ認める）
※シングルスとダブルスを兼ねることは認めない。
※人数の関係上、ダブルスが組めない場合は、他校の生徒と組むことを認める。
ただし、二人ともが同じ条件であること。
- （2）競技様式 試合はトーナメント方式。
全ての試合を 15 点 1 ゲームで行う。（上限を 21 点とする）
チェンジコートは行わない。インターバルは取らないこととする。
- （3）参加資格 保護者・本人の希望した 中学 1(7)年生と 2(8)年生に限る。
また、シングルス・ダブルスともに主審・線審ができる者とする
- （4）服 装 上下とも運動に適したもの（背中に学校名・個人名を示すゼッケンを必ずつける。）
（公財）日本バドミントン協会の規定を基調とする。
- （5）表 彰 各種目三位までとする。（時間があれば三決は行う。）
- 6、参 加 料 一人 500 円（試合当日徴収。棄権の場合も徴収する。）
- 7、申 し 込 み （1）締切日 令和 5 年 11 月 22 日（水）17：00 必着締め切りとする。
（2）申込先 メールと郵送の両方で申し込みを行ってください。どちらも届いて申込の完了とします。
①郵送 〒651-1343 神戸市北区八多町附物 876
神戸市立義務教育学校八多学園後期課程 西井 暢彦 宛
②メール PDF 化したファイルを添付すること
アドレス： hanaoka-t@shoin-jhs.ac.jp 松蔭中学校 花岡 隆人宛
別紙エントリー用紙に従って提出する。
- 8、抽 選 神戸市バドミントン協会並びに世話係に一任のこと。
- 9、そ の 他 ①引率は必ず中学校顧問・クラブチーム代表者・登録コーチまたは保護者が行うこと。
②この大会の結果は、他の大会に影響を与えないものとするが、次回大会の参考にする。
③試合形式等、情勢の変化や参加人数によって変更する可能性がある。

そ の 他 注 意 事 項

1. 競技上の注意

- ・コールがあったら、3分以内にコートに入ること。入らなければ失格となる場合もある。
- ・選手は背中にゼッケンをつける。（校名、個人名入りで見やすいこと。）
- ・試合前の試合形式による2ミスを認める。
- ・主審の認めた以外の中断は一切認めない。汗ふき、ヒモの締め直しは審判に断った後とする。
- ・ベンチ入りできるのは、監督（顧問）・代表者または登録コーチ【クラブチーム】・外部コーチ許可証所持者【学校】と1名（記録係）、あるいは選手2名まで。
- ・全ての試合を15点1ゲームで行う。（上限を21点とする）
ただし時間の関係で可能であると判断した場合、ベスト4決めから21点1ゲームにすることも
ある。
- ・試合前に選手はジャンケンを行い、勝者はコートかサービスレシーブのどちらかを選べる。敗者は勝者が選ばなかった方を選ぶことができる。
- ・チェンジコートは行わない。インターバルは取らないこととする。
- ・試合が終了して、同一選手の次の試合をコールするまでの間隔は5分以上あける。

2. 審判上の注意

- ・敗者審判制です。敗者が主審をする。得点板係をつけること。
- ・新しい審判用紙が来るまでにトスを行い、2ミスを行っておく。
- ・試合後、勝者は審判から審判用紙を受け取り、勝者サインを行う。
- ・敗者は審判用紙を持って、審判長席に提出の後、新しい審判用紙を受け取り、審判に行く。
- ・敗者審判は主審名を記入し、線審の確認と対戦相手の名前を確認して審判を始める。
- ・厳正公正にその任務に当たる。特にカウントやアウトのコールははっきり大きな声で行う。
- ・競技規則に忠実に。サービス、フォルト、レット、プレー継続、不品行なふるまいなどに関する項目（条項）に精通しておく。特に下記の事項は、注意して審判をする。
 - ①故意のプレーの中断（審判に断らない汗ふき、靴ひもの締め直し）の禁止
 - ②インターバル以外の監督や応援者の指示や助言を受けることの禁止。
- ・サービスの際のフットフォルトなどは最初に警告し、その後フォルトとする。
- ・シャトルの交換は主審の承認が必要。
- ・コートが汚れたり、濡れたりしたときの処置は主審の判断で。
- ・インプレー中に隣のコートからシャトルが入って、直接プレーヤーに影響があった、あるいは、ある場合はレットとする。
- ・いかなる場合も「抗議」や「異議」は認めない。質問のあるときは一応申し出る形で。
- ・生徒の敗者審判制であるため、トラブルも考えられるが、その時は本部の競技委員と審判長で判断する。
- ・線審の位置は正式ルールの対角線で行う。
- ・線審は互いのベンチの反対方向に入り、ユニフォームか学校指定の体操服着用者に限る。
- ・線審は「イン」「アウト」の判定をのぞき込むように見て行うこと。

3. 会場使用上の注意

- ・靴は屋外用、室内用の区別をはっきりつける。
- ・競技場フロア内での飲食は厳禁とする。ゴミは各自で責任をもって持ち帰る。
- ・利用させてもらっている最低限のマナー、エチケットは守る。（駐車場でのアップは認めない）
- ・アップは競技フロアの南側（本部の対面）もしくは体育館の北側（外の公園）で行うこと。競技フロアではラケットの使用不可。外の公園は周りに十分注意してのラケットの使用は可。ただし、使用状況によっては使用禁止にする場合もある。
- ・体育館の使用時間は17:00までです。16:10頃が最終コールになります。試合進行に並行して片付けを行う可能性があります。

4、感染・熱中症予防対策等

- ・試合前後の握手は行いません。
- ・開閉会式は実施せず、生徒はフロアに座り最初の連絡事項を聞きます。
- ・試合中マスクは原則をはずします。それ以外のマスクを着用は任意です。
- ・競技フロアへの入場、退場の際の手指消毒はなるべく行ってください。
- ・参加当日、体調不良者は参加を見合わせてください。
- ・タイムテーブルを入れ替えて、可能な試合を入れていきます。
- ・選手に十分な水分補給を促す案内をします。
- ・敗者審判及び勝者サイン用に自分で筆記用具を用意してください。
- ・コートサイドの荷物用カゴは設置しません。荷物は必ず袋に入れたり自分で用意したカゴに入れたりするなどして1つにまとめ、汗のついたタオルやラケット、水筒などを直接フロアに置かないようにしてください。

5. その他

- ・保護者などのインサイドコーチは禁止です。
- ・貴重品は各自・各校で保管をお願いします。
- ・昼食時間は特に設けないので監督の指示か、各自で考えて摂ってください。(座席か外)
- ・個人戦のダブルスで一方の選手が参加できない場合は初回戦のみ以下の選手を補充してのオープン参加とします。オープン参加の優先順としては以下の通りです。それ以外の場合は本部まで相談してください。※監督会議終了後は不可
 - ① 登録外の選手
 - ② シングルに登録している選手
 - ③ 他のダブルスの選手
- ・その他は監督会議において決定します。